

タイトル 「講演 または 研究発表Ⅰ または 研究発表Ⅱ」  
講演者 PTA 会長 西垣 健太郎 副会長 土屋 希望 副会長 小島 雄一郎

学校名 県立追浜高等学校  
講演テーマまたは研究テーマ 「未来を拓け、追高生 70 周年へその先へ  
～未曾有の事態を越えて～」

## 1 はじめに

追浜高等学校全日制は、今年 61 年目を迎えました。

追高生は、開校以来、現在も「文武両道」「独立自主」の校訓を実践し続けています。授業・学校行事・部活動と、あらゆる場面で＜自分を信じて、やり切る力＞を身につけています。

「全ての追高生が幸福な人生を歩んでほしい。そのために、楽しく前向きに毎日を過ごし、充実した学校生活となるように応援したい。」代々の本校 P T A の皆様と全職員が原動力としている思いです。コロナ禍にあっても、A I の台頭で世の中の変化が加速しても、追高生を思う気持ちは開校以来変わりません。本校 P T A の皆様には、その時にできることをアイデアと工夫で形にし、応援し続けていただけてきました。

現在の本校『グランドデザイン』の冒頭には、＜一人ひとりが自分らしく生き、互いを尊重し合う豊かな社会の作り手の育成＞を目指すと記しています。「自分も他者も幸福に」、その理念は心優しき追高生に根付いています。

現在もこれからも、P T A の皆様とともに、同じ思いをもって追高生を応援する学校であり続けるよう努めてまいります。

校長 坂元 久美子

## 2 追高応援団

追高生を応援するのは、P T A だけではありません。卒業生により運営される「うしお会」からは、職員室前の廊下に机と椅子

を寄贈していただきました。

生徒がいつでも気兼ねなく先生に質問し、ホワイトボードを使って教えていただいています。在校生及び卒業生の親で構成される「後援会」も頑張る追高生の後押しをしてくださいます。一例として、部活動の大会による遠征費の補助を行っています。

## 3 P T A 会長より

私たち追浜高校 P T A は日頃より「子どもたちのために」をモットーに、役員会が中心となり、学年・成人・広報・環境安全の各委員会が力を合わせて活動しています。ここ数年はコロナ禍で活動が制限されていましたが、アットホームでオープンな雰囲気は健在です。「できることを、無理なく」を合言葉に、すべての会員と新しい追高 P T A を作り上げていくつもりで取り組んでいきます。

P T A 会長 西垣 健太郎

## 4 委員会活動

### (1) 学年委員会

- ・「学級・学年懇談会」の司会進行・議事録の作成
- ・卒業生の保護者から受験に関する体験をお話いただく「卒業生の保護者と語る会」の運営
- ・卒業式で卒業生が胸に付ける「コサージュ」の製作

### 【卒業生の保護者と語る会】

卒業生の保護者が高校入学からお子さんの進路決定までの道のりをお話ししていただきます。3年前までは対面形式で実施していましたが、コロナ禍による活動制限の中、方法を検討した結果WEBでの配信となりました。オンタイムでの視聴に加え動画配信期間を設けることで多くの保護者に視聴していただくことができ、手探りで始めた3年前に比べて安定した運営ができるようになりました。

令和5年度は9名の保護者にパネラーとしてご参加いただきました。

部活との両立、志望校を決めるに至った経緯、親としてのかかわり、受験校数や受験日程、かかった費用まで少しでも後輩たちの為に役立てば、と事前質問を参考にご準備いただき丁寧にお話しくださいました。今年度は9名中3名のお父様がお話しくださったことも家庭においての大学受験への取り組み姿勢の高さがうかがえます。

パネラーの皆さんを通して卒業生から在校生とその保護者への力強いエールになることはもちろんですが、パネラーの皆さんからもお子さんとの高校生活を振り返る良いきっかけになったとの声を毎回いただいています。

### 【卒業生の胸元を飾るコサージュ作り】

卒業式で子どもたちの胸元を飾るコサージュを手作りしています。

こちらコロナ前は卒業生へのはなむけとして一からひとつひとつのパーツをまとめていく作業であったため、学年委員だけでなく一般の保護者の参加も募った一大イベントでした。現在は密を避けるため完成品に部分装飾を施すこととし、学年委員のみで行っています。

学年委員会のメイン活動の一つでありながら縮小を余儀なくされていますが、形を変えながらも卒業生の輝かしい門出を祝い、コサージュに保護者の思いを込めるべく大事に継承していきたい活動です。学年委員にとっても短時間ではあるものの顔を合わせて作業をすることでさまざまな情報交換ができる大事な機会となっています。

### (2) 成人委員会

PTAの皆様の親睦を深めるために、観劇等のイベントを企画運営しています。イベント後に参加者の皆様からアンケートをいただき、次のイベントの参考にしています。

- ・令和3年度観劇（劇団四季）  
『オペラ座の怪人』『アラジン』
- ・令和4年度観劇（劇団四季）  
『ライオンキング』
- ・令和5年度観劇（劇団四季）  
『クレイジーフォー・ユー』



参加してよかった！また参加したい！と思っただけのイベントを、今後も企画していきたいと思っています。

### (3) 広報委員会

〈広報委員の役割〉

新型コロナウイルスの影響により、学校行事の中止が相次ぎ、広報委員会の取材活動も困難な状況に陥り、広報誌の発行も危ぶまれました。しかし、広報委員会として子供たちの学校生活を来校できない保護者の方々へ何とかしてお伝えしようという思いで活動を継続してきました。

ここ2年は学校行事が再開されたものの保護者の来校は許可されなかったため、広報委員は学校の協力のもと、取材人数を調整し、マスクの着用・手指消毒・体調管理を徹底し、取材活動を継続することができました。その様子は広報誌「号外号」としてお伝えすることができました。



#### (4) 環境安全委員会

交通安全、防災の両面から子どもたちをサポートしていくために活動を行っています。ここ数年は、コロナ禍の中、思うように活動出来ませんでしたが、その中で委員会として生徒が安全に通学できるよう行ってきました。

##### 【セーフティーカード】

「セーフティーカード」は万が一の事故、災害時に少しでも心を落ち着けて対応できる手助けとなってほしいという思いで、毎年新生に配布していました。また、セーフティーカードは東日本大震災を教訓として発案されたものなので、耐水性に優れたものとして作成されました。生徒にカードを携帯してもらう方法を話し合いリニューアルしました。カードを薄くして耐久性に優れた素材を選び、財布などに入れても大丈夫なようにしました。各学年カラーにしていたものを全校統一の色として、目立つ黄色に変更しました。

#### 5 創立 50 周年記念式典

##### ・ 記念講演

「人生における回り道について」

41 期生 中村洋太さん

フリーライター エッセイスト

ライター講師 モデルとして活躍

##### ・ 卒業生による記念演奏

ソプラノ歌手 蛇目泰子さん

松永知史さん

ヴァイオリン奏者 渡辺達徳さん

盛大に行われた記念式典の中で、生徒会長は「60 年歴史を受け継ぎながら、新しい追高を作る種まきをしたい」と話していました。

60 周年の歴史の中で先輩達が築き上げてきた素晴らしいものを吸収し、新しい風を取り込みながら、今度は自分たちが後輩へとつなぐ道を作り上げていくという気持ちにさせてくれる素晴らしい式典でした。

##### ・ 記念品進呈

PTA より下駄箱を進呈しました。

60 年間使っていた趣のある下駄箱を再利用し、クラスプレートを作っていました。

#### 6 まとめ

追浜高校 PTA では「できる人が、できる時に、できるだけ」を合言葉に可能な限り役員・委員の負担を減らすように工夫しています。また、委員会の垣根を越えて協力し合う雰囲気が出ています。



皆で協力して子どもたちの夢の実現を応援



未来に向けてひとつひとつ考え、  
一步一步前進する子どもたちを  
見守っていきます！